

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史

編集後記

▶ 本号の特集は「前立腺癌の診断から治療まで」です。本特集は平成30年4月にパシフィコ横浜で開催されたJRC2018の合同教育セッションにおいて発表された「前立腺癌の診断から治療まで」の内容を、東京医療センターの萬篤憲先生と近畿大学医学部附属病院がんセンターの奥村雅彦先生が本誌の特集として編集されたものです。このセッションは日本医学放射線学会と日本放射線技術学会および日本医学物理学会の3学会による合同教育セッションであり、本特集においては放射線診断医・腫瘍医と泌尿器科医のみならず、診療放射線技師や医学物理士によっても論文が執筆されています。前立腺癌の診断から治療に関わる様々な立場からの視点で書かれており、非常に充実した内容となっています。

▶ 診療論文は「石灰化脳転移の神経放射線学的検討」、「頭頸部CTにおける梨状窩虚脱の左右優位性に関する検討」、「未治療前立腺癌の前立腺FDG集積についての検討」、「デリバリー-FDG-PETの新しい流れ」の4編であり、いずれの論文も本誌ならではの日常診療に直結し、明日から役立つ内容となっています。症例論文は「糖尿病の若年女性に生じた炎症性肝細胞性腺種の1例」、「鼠径部に発生し、多房性嚢胞性腫瘤を呈した孤立性繊維性腫瘍の1例」、「子宮原発STUMPの2例」の3編です。これら3編の症例の画像所見は必ずしも特異的ではありませんが、論文の中に書かれた鑑別診断の進め方には多くの学ぶべき点があると考えます。是非、ご一読ください。

▶ ところで、平成という元号が使われるのも今年の4月30日までとなりました。5月1日からは新元号の使用が予定されています。平成には「国の内外、天地とも平和が達成される」という意味があるそうです。新元号が何になるかはまだ公表されていませんが、新しい元号が万人の願いの込められた素晴らしいものとなるよう楽しみに待ちたいと思います。

後閑武彦

「臨床放射線」第64巻第2号

2019年2月10日発行（毎月10日発行）

定価（本体2,600円＋税）

年間購読料金 定価（本体39,700円＋税）

〔年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。